

せんだいスクール・オブ・デザイン

## 学生便覧

2012 年度春学期

2012.5.28 改訂版

## 目次

1. 受講モデル	2
2. 全体スケジュール	3
3. <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2012年度春学期開講科目シラバス</span>	
PBL スタジオ 1 メディア軸「現代美術と地域を考える」	4
PBL スタジオ 2 環境軸「センダイオアシス／ブルーグリーンスタジオ 3」	5
PBL スタジオ 3 社会軸「ポスト・シンパシー・プレイス」	6
PBL スタジオ 4 コミュニケーション軸「仙台を使い切る〈働き方〉のデザイン」	7
Future ラボ 3 「スマートコミュニティの近未来像を「見せる化」する」	9
Interactive レクチャ「境界線上のインテリアデザイン」	10
クリエイターインレジデンス「移動するのは人か建築か」	11
アジャイル・リサーチ・プロジェクト	12
4. 講師とスタッフ	13

## 1. 受講モデル

### 受講コース：

受講にあたっては在籍期間と修了認定要件に応じて2種類のコースがあります。  
受講および修了認定は、半年ごと年2回おこなわれます。

コース	在籍期間	修了認定に必要な取得ポイント数
基礎コース	半年	1.2以上。少なくともPBLスタジオの中から1スタジオを選択し、Interactiveレクチャーを履修することが最小条件
発展コース	一年	2.4以上。少なくとも半期ごとにPBLスタジオの中から1スタジオを選択し、Interactiveレクチャーを履修すること。

2012年度春学期からの受講期間は、下記のとおりです。

- ・基礎コース 2012年5月12日から2012年9月30日まで
- ・発展コース 2012年5月12日から2013年3月31日まで

※基礎コースを修了認定された方は、再度半年受講いただくことにより発展コース修了者として認定されます。

**受講料：**無料です。ただし、保険料や課題制作材料費等、一部実費の自己負担をいただく場合があります。

### 開講科目：

種別	科目	春学期 [5月-9月]	秋学期 [11月-3月]	ポイント
選択 必修科目	PBLスタジオ [環境軸]	開講	開講	1.0
	PBLスタジオ [メディア軸]	開講	開講	1.0
	PBLスタジオ [社会軸]	開講	開講	1.0
	PBLスタジオ [コミュニケーション軸]	開講	開講	1.0
	PBLスタジオ [国際軸]	開講せず	開講	1.0
必修科目	Interactiveレクチャー	3回	3回	0.2 [2回以上の出席でポイント取得]
選択科目	Future ラボ	開講	開講	0.5
	クリエイタ・イン・レジデンス	開講	開講せず	0.5
	アジャイル・リサーチ・プロジェクト [ARP]	随時開講		0.5

ただし、複数のPBLスタジオをひとつの学期内で履修することはできません。

**修了要件：**ポイント取得の可否はスタジオマスターにより判定されます。

主に講義出席、積極性、成果品制作姿勢などにより総合的に判断します。

スタジオごとに諸条件が異なりますので、詳細は各スタジオのシラバスをご確認下さい。

## 2. 全体スケジュール [2012年度春学期]

学事日程：

2012年5月12日 [土] 受講ガイダンス／開講式

2012年7月27日 [金] 学内講評会

2012年8月12日 [日] 成果シンポジウム

2012年9月29日 [土] 修了式

発展コースの方は、引き続き11月3日開講の秋学期を受講いただきます。

講義日程：変更になる場合があります。ウェブサイトのスケジュールを都度ご確認ください。

日程	行事予定	各講義予定						
		ILek	メディア	環境	社会	コミュ	Fラボ	CinR
5	12 土	開講式						
	13 日							
	14 月							
	15 火							
	16 水	配属確定						
	17 木							
	18 金		#1	#1				
	19 土							
	20 日				#1			
	21 月							
	22 火							
	23 水							
	24 木	#1						
	25 金		#2	#2		#1		
	26 土				#2	#2		
	27 日				#3			
	28 月						#1	
	29 火							
	30 水							
	31 木							
6	1 金						#2	
	2 土							
	3 日				#4			
	4 月							
	5 火							
	6 水				#5			
	7 木					#3		
	8 金						#3	
	9 土			#3				
	10 日							
	11 月	#2						
	12 火		#3					
	13 水						#4	
	14 木							
	15 金							
	16 土				#6			
	17 日							
	18 月							
	19 火		#4					
	20 水							
	21 木				#7			
	22 金			#4			#5	
	23 土			#5		#4	#6	
	24 日					#5		
	25 月							
	26 火		#5					
	27 水							
	28 木							
	29 金				#8			
	30 土							
7	1 日							
	2 月							
	3 火							
	4 水				#9			
	5 木							
	6 金		#6	#6				
	7 土							
	8 日					#6		

日程	行事予定	各講義予定						
		ILek	メディア	環境	社会	コミュ	Fラボ	CinR
7	9 月							
	10 火							
	11 水		#3					
	12 木							
	13 金				#10			
	14 土							
	15 日							
	16 月	海の日						
	17 火							
	18 水							
	19 木							
	20 金			#7	#11	#7		
	21 土							
	22 日							
	23 月							
	24 火							
	25 水							
	26 木							
	27 金	学内講評会						
	28 土							
	29 日							
	30 月							
	31 火							
8	1 水							
	2 木							
	3 金							
	4 土							
	5 日							
	6 月							
	7 火							
	8 水							
	9 木							
	10 金							
	11 土							
	12 日	成果発表会						
	13 月							
	14 火							
	15 水							
	16 木							
	17 金							
	18 土							
	19 日							
	20 月	清掃						
	21 火							
	22 水							
	23 木							
	24 金							
	25 土							
	26 日							
	27 月							
	28 火							
	29 水							
	30 木							
	31 金							
9	29 土	修了式						

※上記スケジュールの他、スタジオごとにエキスやオフィスパワー等が予定されます。

テーマ：「現代美術と地域を考える」 / S-meme04 制作

---

講師：五十嵐太郎 | 東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 教授

小崎 哲哉 | 『REALTOKYO』『REALKYOTO』発行人兼編集長  
京都造形芸術大学比較芸術学研究センター客員研究員

アートの領域に越境するパフォーマンスアーツの現在について講義。  
S-meme04 にコンテンツの小課題を提示。

飯田志保子 | インディペンデント・キュレーター、元東京オペラシティギャラリー

国際美術展の企画に携わった経験からグローバル化の時代の地域と美術の関係について講義。

村上タカシ | 宮城教育大学 准教授

仙台を拠点に活動するアーティストの立場から、震災と美術の可能性について講義。

担当助手：斧澤未知子 | SSD 研究員 ※連絡先 | onozawa@archi.tohoku.ac.jp

---

趣旨： 仙台から発信する文化批評誌である、スタジオ成果物『S-meme』の第四号を完成させることを目標とする。今期のテーマに基づいたリサーチを行い原稿を書くことから、編集・装幀デザインまでの雑誌制作に関わる全ての作業に自分の能力を活かしながら関わり、雑誌を完成させる。

今回は「現代美術と地域を考える」をテーマとし、あいちトリエンナーレ 2013 において芸術監督を務めるスタジオ担当教員である五十嵐太郎を核に、現在あいちトリエンナーレ 2013 を組み立てている布陣である小崎哲哉（パフォーマンスアーツ統括プロデューサー）、飯田志保子（キュレーター）、加えて地元から震災後のアートを発信する村上タカシ（宮城教育大学）を講師に迎え、現代美術の動向を学びながら、仙台におけるアートの場を見出し、そして震災後の美術と国際展の意味と役割も考える内容を扱う。

スタジオ活動は主に下記のことからなる。

- ・ レクチャー : 現代美術の動向を学ぶ
  - ・ 小課題 : 『S-meme』コンテンツとなるテキスト執筆に関わる小課題が出題される
  - ・ リサーチ : 仙台におけるアートの場にどのようなものがあるのかをリサーチし、記事にする
  - ・ フィールドワーク : 希望者で仙台のアートの場として挙げたものを実際に見学に行く
  - ・ 雑誌制作作業、編集会議 : 原稿執筆から編集・装幀デザインまでを行い『S-meme』を完成させる。
- 

修了要件：スタジオ成果物となる S-meme04 「現代美術と地域を考える」号の制作のためのリサーチを伴った原稿執筆、レクチャーに対する質疑応答、編集作業、装幀デザインなどの作業に、自分の能力を活かして積極的に関わること。

---

スケジュール：各日 19 時～22 時

#1	5/18 [金]	斧澤		編集会議#1
#2	5/25 [金]	五十嵐・小崎		レクチャー+小課題出題、編集会議#2
#3	6/12 [火]	五十嵐・村上		レクチャー、編集会議#3
#4	6/19 [火]	五十嵐・小崎		小崎哲哉小課題チェック、編集会議#4
#5	6/26 [火]	五十嵐		編集会議#5
#6	7/6 [金]	五十嵐・飯田		レクチャー、編集会議#6

その他 7/7 [土] 飯田志保子レクチャー

---

備考：上記以外にもデザイン、文字起こし、校正、その他編集作業などで別途ミーティングを設ける。

**テーマ：センダイオアシス/ブルーグリーンスタジオ 3**

---

**講師：**石田壽一 | 東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 教授

皆川典久 | 東京スリパチ学会会長 / 鹿島建設株式会社東北支店

地形と水系を体験的に理解するフィールドワークとその手法のレクチャー及び課題のエスキスを行う。

中野和典 | 日本大学工学部土木工学科 准教授

グリーンインフラストラクチャーの概論と実践のレクチャー及び課題のエスキスを行う。

**担当助手：**小川泰輝 | 東北大学大学院工学研究科 助手 ※連絡先 | ogawa@achi.tohoku.ac.jp

阿部 篤 | SSD 研究員 ※連絡先 | abeatsushi@archi.tohoku.ac.jp

---

**趣旨：**干潟、湿地、湖沼、水路、水田など生態系サービスが期待される「グリーンインフラ」と、水域隣接生活環境との最適な関係をデザインする。今期は仙台平野の復興計画に連動した調整池に変わる大規模水路計画の環境デザインを考える。

---

**修了要件：**スタジオ成果物となるグリーンインフラデザインに関連したレポート作成、レクチャーに対する質疑応答、各会のフィールドワークとミニワークショップなどの作業に、自分の能力を活かして積極的に関わること。

---

**スケジュール：**

#1	5/18 [金]	18:30—21:30	石田・皆川		ガイダンス
#2	5/25 [金]	18:30—21:30	石田・皆川・中野		レクチャ：グリーンインフラストラクチャー フィールドワークメソッド
#3	6/ 9 [土]	10:00—16:00	石田・皆川		フィールドワーク
#4	6/22 [金]	18:30—21:30	石田・皆川		レクチャ：GPS を用いた地形表現ワークショップ フィールドワークメソッド [註] FL3 と同時開催
#5	6/23 [土]	10:00—16:00	石田・皆川		フィールドワーク [註] FL3 と同時開催
#6	7/06 [金]	18:30—21:30	石田・皆川・中野		エスキス
#7	7/20 [金]	18:30—21:30	石田・皆川		最終チェック

テーマ：ポスト・シンパシー・プレイス

---

講師：小野田泰明 | 東北大学 大学院工学研究科 都市・建築学専攻 専攻長/教授

堀越 謙三 | 東京藝術大学 大学院映像研究科映画専攻教授/映像研究科長

映画製作・ユーロスペースでの映画上映・東京藝術大学の教育活動等をもとに、映画製作・配給・教育の社会との関わりについて講義。

岩崎ゆう子 | コミュニティシネマセンター事務局長

コミュニティシネマセンターでの活動をもとに、映画上映の公共性について講義。

東京藝術大学大学院生

調査結果をもとに、上映会のための映画選択を専門的知見から助言。

担当助手：岩澤拓海 | SSD 研究員 ※連絡先 | iwawasa@archi.tohoku.ac.jp

---

趣旨：2011年3月11日、我々の生活は一変した。心ある多くの人たちの支援により、困難は残るもののなんとか人間らしい生活が送れるようになってきたが、そろそろ次のフェーズではないだろうか。支援を超えて、個が凛として立てる「場」を、我々の生活空間の中に実現する方法について考究/実践する。

本スタジオでは、岩沼市被災6地区の集団移転事業に伴う、住民の記憶・文化の記録・調査、及び継承方法としての映画上映会の企画・実施を目標とする。

現在岩沼市では、沿岸部の6つの集落を対象に玉浦西部地区への集団移転事業が進められている。6つの集落は古くからの緊密なコミュニティが維持されるとともに、居久根や貞山堀といった、固有の農村集落景観が残る地域であった。新しい地区に移るにあたって、こうした個々の集落の持つ記憶・文化を何らかの形で継承することが、コミュニティの維持、また将来のまちを形づくっていく上でも重要と考えられる。

復興という実的なプロセスにおける、記憶・文化の継承という抽象度の高い課題に対して、綿密な調査と講師を交えた検討をもとに市民のために選んだ映画の上映会実施を通じて、新たな方法を検討し実践する。

---

修了要件：スタジオ前半に行われるフィールドサーベイに参加し、調査結果を元にしたディスカッション等に積極的に関わること。また、スタジオ後半では企画のための準備に参加し、企画書等の作成に個人の能力を活かして参加すること。

---

スケジュール：

#1	5/20[日]	12:30-21:00	小野田		フィールドサーベイ/ディスカッション
#2	5/26[土]	12:30-21:00	小野田		フィールドサーベイ/ディスカッション
#3	5/27[日]	13:00-16:00	小野田・岩崎・芸大院生		レクチャー・ディスカッション
#4	6/02[土]	12:30-21:00	小野田		フィールドサーベイ/ディスカッション
#5	6/06[水]	19:00-22:00	小野田・堀越		ディスカッション/レクチャー
#6	6/16[土]	12:30-21:00	小野田		フィールドサーベイ/ディスカッション
#7	6/21[木]	19:00-22:00	小野田・ゲスト		上映会検討/ディスカッション/レクチャー
#8	6/29[金]	19:00-22:00	小野田・ゲスト		上映会検討/ディスカッション/レクチャー
#9	7/04[水]	19:00-22:00	小野田・堀越		企画書レビュー
#10	7/13[金]	19:00-22:00	小野田		企画書エスキス
#11	7/20[金]	19:00-22:00	小野田		スタジオ内講評会

---

備考：活動場所は、岩沼市・仙台市及び周辺地域とする。スタジオ前半では、3班程度でのフィールドサーベイが主体となる。スケジュールの他に必要の際は別途ミーティング等の機会を設ける。積極的に外部のNPO、団体、プロジェクト等と協働することも予定している。

## テーマ：仙台を使い切る〈働き方〉のデザイン

---

**講師：**本江正茂 | 東北大学都市・建築学専攻 准教授

中西泰人 | 慶応義塾大学環境情報学部 准教授

ヒューマンインターフェースの見地から「アイデアキャンプ」などの創造活動支援の方法論について、レクチャやワークショップ、エスキスなどを通じて指導。

高山 明 | Port B 主宰

「完全避難マニュアル」「個室都市東京」など都市をダイナミックに扱う演出家の見地から都市のユニークな使い方に関する知見を提供。

中村健太 | 株式会社シゴトヒト代表取締役

生き方／働き方にフォーカスする求人サイト「東京仕事百貨」企画運営の見地から新しい〈働き方〉に関する知見を提供。

**担当助手：**阿部篤 [SSD 研究員] ※連絡先 | [abeatsushi@archi.tohoku.ac.jp](mailto:abeatsushi@archi.tohoku.ac.jp)

---

**趣旨：**雇用の多様化、職業と職種の流動化、ソーシャルメディアなどにより、働き方が変わってきている。在宅勤務、シェアオフィス、パーソナルファブなどにより、働く場所が変わってきている。都市の中に働きやすい場所を「見つけ・育て・共有する」という回路を作りながら、自ら働き方をデザインしていくスタイルが現れ始めている。

そこで今期は仙台の都市を使い切るための新しい〈働き方〉を考える。

まずフィールドワークによって都市のなかのユニークな働き方、働く人々を観察・採取し、次いで都市のユニークな使い方や新しい〈働き方〉に関する専門家の知見を交えて議論する。その上で仙台の都市を使い切るような新しい〈働き方〉をデザインする。最終的には構想された新しい〈働き方〉を適切な表現手法によってプレゼンテーションしてもらう。

縮退する地方都市におけるストックのリデザインとして、あるいは震災復興にむけた産業振興のアイデアとして、仙台をフィールドに都市のリソースを使い切る新しい〈働き方〉のラディカルな構想を期待する。

---

**修了要件：**講義への参加状況と最終製作物とを総合的に判断します。

---

### スケジュール：

# 1	5/25	[金]	18:30-21:30	本江・中西		キックオフ
# 2	5/26	[土]	09:30-16:30	本江・中西		ワークショップ 1
# 3	6/07	[木]	18:30-21:30	本江		エスキス 1
# 4	6/23	[土]	18:30-21:30	本江・中西		エスキス 2
# 5	6/24	[日]	13:30-16:30	本江・中西・高山・中村		ミニシンポジウム [終了後懇親会]
# 6	7/07	[土]	09:30-12:30	本江・中西		エスキス 3
# 7	7/20	[金]	18:30-21:30	本江		発表リハーサル

※このほか 6/14 [木]、6/28 [木]、7/12 [木]、8/2 [木] の 18:30-21:30 をオフィスアワーとする。

7/28 [土] 9:30-12:30 を反省会とする。

## 参考文献：

- ・岸本章弘、中西泰人、仲隆介、馬場正尊、みかんぐみ『POST-OFFICEーワークスペース改造計画』TOTO 出版、2006
- ・岸本章弘『NEW WORKSCAPEー仕事を変えるオフィスのデザイン』弘文堂、2011
- ・池田晃一『はたらく場所が人をつなぐ』日経 BP 社、2011
- ・オフィスユースウェア・マネジメント研究会『いい会社はオフィスが違う』NTT 出版、2012
- ・佐々木俊尚『仕事するのにオフィスはいらない』光文社、2009
- ・阿部仁史、本江正茂、小野田泰明、堀口徹『プロジェクトブック』彰国社、2005
- ・中西泰人、岩崎博論、佐藤益大『アイデアキャンプー創造する時代の働き方』NTT 出版、2011
- ・馬場正尊、林厚見、吉里裕也『だから、僕らはこの働き方を選んだ 東京 R 不動産のフリーエージェント・スタイル』ダイヤモンド社、2011
- ・長谷川浩己、山崎亮『つくること、つくらないこと：町を面白くする 11 人の会話』学芸出版社、2012
- ・リチャード・フロリダ『クリエイティブ都市論ー創造性は居心地のよい場所を求める』ダイヤモンド社、2009
- ・大野秀敏＋アバンアソシエイツ『シュリンクング・ニッポンー縮小する都市の未来戦略』鹿島出版会、2008
- ・大西隆『人口減少時代の都市計画 まちづくりの制度と戦略』学芸出版社、2011
- ・黒川紀章『ホモ・モーベンスー都市と人間の未来』中央公論新社、1969
- ・赤瀬川原平、南伸坊、藤森照信『路上観察学入門』筑摩書房、1993
- ・今和次郎『採集講義』青幻舎、2011

2012年春学期 Interactive レクチャ [必修科目 | 0.2 ポイント]

## テーマ：境界線上のインテリアデザイン

---

**講師：**鈴木紀慶 | 有限会社スズキ e ワークス代表取締役/編集者

飯島直樹 | 飯島直樹デザイン室代表/インテリアデザイナー

浅子佳英 | タカバンスタジオ代表/インテリアデザイン、建築設計、ブックデザイン

**コーディネーター：**五十嵐太郎 | 東北大学都市・建築学専攻 教授

---

**趣旨：**今期の Interactive レクチャのシリーズでは、普段はなかなか言語化されないインテリアデザインをめぐる思考とそのジャンル横断的な試みについて考えていく。

飯島直樹 は、スーパーポテトから独立し、感覚的なデザインとは異なる道を切り開いている。1980年代の強いかたちのオブジェのインスタレーション、1990年代以降の場との関係性を操作するデザインは、建築的な思考や映画との類推から生みだされた。また JCD [[社] 日本商環境設計家協会] の理事長として、インテリアデザインの興隆にも力を入れている。編集者の鈴木紀慶は、日本を代表するデザイナーである倉俣史朗の本を二冊手がけ、自らも論考を寄稿している。倉俣は、ほとんどアートの領域というべき前衛的な作品を発表し、建築界にも多大な影響を与えた。60年代から彼が展開した透明感あふれる無重力感覚のデザインは、現代の動向を予見したかのようである。鈴木には倉俣デザインの意義について語っていただく。そして浅子佳英は、インテリアや建築のデザインを行うだけでなく、『思想地図β』にも関わる論客として活躍している。彼には、コムデギャルソンのインテリアデザインや、建築家によるインテリアデザインなどのテーマを通じて、現代の状況を論じてもらう。

この科目では、以上の三組のレクチャーと、受講者による長時間の質疑応答によって、デザインを伝えていく思考を学ぶ。

---

**修了要件：**3回開催のうち2回以上の出席

---

### スケジュール：

#1	5/24 [木]	19:00—22:00	鈴木紀慶		倉俣史朗論
#2	6/11 [月]	19:00—22:00	飯島直樹		自身の作品紹介と日本のインテリアデザインの変遷
#3	7/11 [水]	19:00—22:00	浅子佳英		最近のインテリアデザインについて

---

**場所：** #1~3 house/阿部仁史アトリエ [仙台市若林区卸町3丁目3-16]

---

**備考：** 一般公開 | 要事前申込

**テーマ：スマートコミュニティの近未来像を「見せる化」する**

---

**講師：**石田壽一 | 東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻教授

田路和幸 | 東北大学大学院環境科学研究科環境科学専攻教授  
環境科学研究科 Ecollab.における実践等を通してスマートコミュニティの近未来像について講義。

持田 灯 | 東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻教授  
ヒートアイランド等の都市気候の形成メカニズム等について講義。

後藤伴延 | 東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻准教授  
自然エネルギー利用型の都市環境調整手法について講義。

石川 初 | 株式会社ランドスケープデザイン  
都市における地形の身体化とその表現についてレクチャーとワークショップを実施。

平 慎次 | アクセンチュア株式会社経営コンサルティング本部マネージャー  
アメリカの Opower 社が行っている各家庭の節電促進における戦略的特徴について講義。

渡辺圭介 | 東北生活文化大学生活美術学科講師/メディアアーティスト  
「見せる化」を実現する環境情報のビジュアルコミュニケーションデザインについて  
レクチャーとワークショップを実施。

**担当助手：**錦織真也 [東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻助手] ※連絡先 | nishikori@archi.tohoku.ac.jp

藤山真美子 [東北大学大学院環境科学研究科・研究企画室助手]

※連絡先 | fujiyama@mail.kankyo.tohoku.ac.jp

岩澤拓海 [SSD 研究員] ※連絡先 | iwasawa@archi.tohoku.ac.jp

---

**趣旨：**再生エネルギー利用や省エネ技術による地球環境配慮型の次世代インフラ・コミュニティに対する関心は、昨年の東日本大震災の影響もあり一層高まっている。一方で、スマートコミュニティの創生がエネルギー・通信関連企業のデバイス普及合戦にとどまり、エンドユーザーと居住コミュニティの関係が新たに刷新される範囲は限られているという冷めた見方もある。スマートコミュニティに対するリテラシーをいかに高めるか、情報を「見せる化」するか、またその情報をいかにコミュニティデザインに活用するかについて、コミュニティの生活環境を形成する基本的な自然エネルギーである風水と熱環境・地形などの専門家やオペレーションの実務家とともに考える。

---

**修了要件：**スタジオ成果物となるリサーチ・データ・スケープに関連したレポート作成、レクチャーに対する質疑応答、各会のミニワークショップなどの作業に自分の能力を活かして積極的に関わること。PC 環境に対する最低限の知識が求められる。

---

**スケジュール：**

- #1 05/28 [月] 18:00-21:00 石田・渡辺 | ガイダンス/映像表現レクチャ・ワークショップ
- #2 06/01 [金] 18:30-21:30 石田・渡辺・田路 | スマートコミュニティの近未来像 1/ Ecollab.の実践
- #3 06/08 [金] 18:30-21:30 石田・渡辺・平 | スマートコミュニティの近未来像 2  
/ Opower のリテラシー戦略
- #4 06/13 [水] 18:30-21:30 石田・渡辺・持田・後藤 | 環境形成メカニズムの分析と評価手法
- #5 06/22 [金] 18:30-21:30 石田・渡辺・石川 | GPS を用いた地形表現ワークショップ
- #6 06/23 [土] 10:00-18:00 石田・石川 | フィールドワーク #5 と #6 は(註)PBL2 と同時開催

2012年春学期 クリエイター・イン・レジデンス [選択科目 | 0.5 ポイント]

**テーマ：移動するのは人か建築か**

---

**招待作家：**assistant [松原滋+有山宙] [アーティスト]

**担当助手：**斧澤未知子 [SSD] ※問合せ先 onozawa@archi.tohoku.ac.jp

---

**趣旨：**2011年の震災によって、たくさんの人や、物が移動した。「移動」をテーマに、自身も動き続けながら作品を考え、制作する

---

**修了要件：**

- ・作品制作にあたってのリサーチ
  - ・共同制作実施
  - ・参加者個別に作品のアーカイブ制作
- 

**スケジュール：**7月上旬の2週間 [詳細日程は後日公開]

2012年春学期 アジャイル・リサーチ・プロジェクト [選択科目 | n ポイント]

**テーマ：未定 | 随時開講**

---

つぎつぎと様相を変える地域の課題に対して、アジャイル [臨機応変] に応答していくために、情報を整理し、知識を共有するためのプロジェクト群。テーマに応じて適切なスコープを都度設定し、リサーチを行う。

開講ごとにウェブにて詳細を告知する。重複履修可とし、修了生の有志参加も歓迎する。ポイントは負荷に応じて開講時にその都度設定する。

| 東北大学教員 |

本江 正茂 [東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻准教授]  
五十嵐太郎 [東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻教授]  
石田 壽一 [東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻教授]  
小野田泰明 [東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻教授]  
小川 泰輝 [東北大学大学院工学研究科助手]  
錦織 真也 [東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻助手]  
藤山真美子 [東北大学大学院環境科学研究科研究企画室助手]

| 特任准教授 |

平田 晃久 [平田晃久建築設計事務所主宰]  
石上 純也 [石上純也建築設計事務所主宰]

| 外部講師 | ※科目順

小崎 哲哉 [『REALTOKYO』『REALKYOTO』発行人兼編集長  
京都造形芸術大学比較芸術学研究センター客員研究員]  
飯田志保子 [インディペンデント・キュレーター、元東京オペラシティギャラリー]  
村上タカシ [宮城教育大学准教授]  
皆川 典久 [東京スチバチ学会会長、鹿島建設株式会社 東北支店建築設計部]  
中野 和典 [日本大学工学部土木工学科准教授]  
堀越 謙三 [東京藝術大学 大学院映像研究科映画専攻教授/映像研究科長]  
岩崎ゆう子 [コミュニティシネマセンター事務局長]  
東京藝術大学大学院生  
中西 泰人 [慶応義塾大学環境情報学部准教授]  
高山 明 [Port B 主宰]  
中村 健太 [株式会社シゴトヒト代表取締役]  
鈴木 紀慶 [有限会社スズキ e ワークス代表取締役/編集者]  
飯島 直樹 [飯島直樹デザイン室代表/インテリアデザイナー]  
浅子 佳英 [タカバnstudio代表/インテリアデザイン、建築設計、ブックデザイン]  
渡辺 圭介 [東北生活文化大学家政学部生活美術学科講師]  
田路 和幸 [東北大学大学院環境科学研究科環境科学専攻教授]  
持田 灯 [東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻教授]  
後藤 伴延 [東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻准教授]  
石川 初 [株式会社ランドスケープデザイン副部長]  
平 慎次 [アクセンチュア株式会社経営コンサルティング本部マネージャー]

| SSD 研究員 |

阿部 篤 [科学技術振興研究員]  
斧澤未知子 [科学技術振興研究員]  
岩澤 拓海 [科学技術振興研究員]  
鎌田 恵子 [科学技術振興研究員]

お問い合わせ：

せんだいスクール・オブ・デザイン事務局

〒980-8577 仙台市青葉区片平 2-1-1 電気通信研究所内

東北大学大学院工学研究科都市建築学専攻

tel : 022-217-6355

fax : 022-217-6350

email : [info@sendaischoolofdesign.jp](mailto:info@sendaischoolofdesign.jp)

<http://sendaischoolofdesign.jp>

「せんだいスクール・オブ・デザイン」は、東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻が、仙台市と連携し、文部科学省が運用を行う科学技術振興推進費のプログラム「地域再生人材創出拠点の形成」の一環として実施するものです。



戦略推進費